

平成 28 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①社会の変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる力の育成を目的として、授業改善をさらに進める。</p> <p>②高大接続を見据えた教育活動の展開、中・高間の教育活動の連携を進める。</p>	<p>①生徒の主体性をより引き出す授業の実践に向けて、組織的な授業改善の進展を図る。</p> <p>②高校改革に示された中高大連携型教育の検討を開始する。</p>	<p>①未作成科目の到達度達成表(ルーブリック)を作成する。</p> <p>②授業の場で使用可能なルーブリックに仕上げる。</p> <p>③横浜国立大学附属横浜中学校との連携で実施している総合的な学習の時間の取組を深化させる。</p>	<p>①未作成科目のルーブリックを作成したか。</p> <p>②生徒による授業評価の項目4(生徒主体)において、教科全体の「かなりあてはまる」「ほぼあてはまる」の回答率が8割以上か。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①部活動の充実をさらに図り、リーダーシップと、協働し支える力を育む。</p> <p>②生徒一人ひとりに応じた支援を行う。</p>	<p>①部活動の高い加入率を維持し、さらに活性化を図る。</p> <p>②部活動等とおして、生徒一人ひとりの高校生活の満足感を高めることを図る。</p>	<p>①部活動そのものの活性化とともに、様々な発信や、校内アンケートによる意識調査等により、生徒の意欲を引き出した、沈思したり熟考したりする姿勢を引き出す。</p>	<p>①部活動加入率は8割以上か。</p> <p>②校内生活アンケート等において、学校に満足しているという回答が6割以上か。</p> <p>③「今年は生徒と向き合う時間が増えた」という教員が1人以上いる。</p>					
3 進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりが、能力や特性を活かして社会に貢献できるようキャリアガイダンス等の充実を図るとともに、希望する進路実現に向けた支援をおこなう。</p>	<p>①生徒に進学について真剣に考えさせる。</p> <p>②行きたい大学を見すえ、その大学を第一志望とするよう支援する。</p>	<p>①キャリアガイダンス、進路に係る面接の充実を図り、生徒の進路意識を高める。</p> <p>②入学当初において国公立志向の生徒が多い。その希望を継続させるよう支援をする。</p>	<p>①進路目的を明確にし、その第一志望校を受験した生徒は7割以上か。</p> <p>②第一志望の大学への進学を実現するため、さらに進学準備にあてる生徒が一定数存在する。(現役合格者数により数値が変わるので、目標数値はない)</p>					

4	地域等との協働	①地域との連携を推進することで、生徒の社会性や協働する力を育む。	① 域に信頼される生徒であるので、さらに信頼を高められるよう、地域との連携を図る。	①部活動、ボランティア等による地域との連携をさらに進める。	① 加した生徒自体が、自己肯定感、協働、活動の楽しさ等の満足感を獲得することができたか。					
5	学校管理 学校運営	① 職員全体が、質の高い授業を行うために、施設、防犯等に心を配り、生徒が安心して通うことのできる、安全で楽しく、心温まる学校環境づくりを推進する。	①不祥事防止に努める。 ②耐震工事に向けた年度の工程を遅滞なく進める。	①グループ主導の不祥事防止会議、研修会の実施により、不祥事防止の切実性の理解を図る。 ②生徒の教育保証を観点の第一義として、耐震工事設計についての学校の意見を明確にしておく。	①グループ主導の不祥事防止会議を年間で5回以上開催できたか。 ②耐震工事設計は学校として満足できるものになったか。					